

# 小松・沖町 伸び率10%

## 県内の住宅地でトップ

## 新小松開業 商業施設が集積

19日に発表された石川県内の基準地価は、小松市沖町で上昇率が10・3%となり、住宅地で県内トップだった。沖町周辺は商業施設の集積が進む。前年調査時も2・6%上昇していたが、今年は「イオンモール新小松」がオープンし、さらに利便性が高まった。北陸新幹線敦賀延伸を見据えた代替地需要も一部に残っており、住宅需要を底上げしている。

### 基準地価

沖町の調査地点は商業施設、理事業地の真手に当たる。設の出店が進む土地区画整 調査地点周辺では昨年、91



石川県内の住宅地で基準地価の上昇率がトップとなった小松市沖町周辺

市町	17年度(16年度)			17年度(16年度)			17年度(16年度)		
	住宅地	商業地	全用途	住宅地	商業地	全用途	住宅地	商業地	全用途
金沢市	0.9 (0.7)	4.8 (5.7)	2.2 (2.3)	0.8 (1.2)	4.3 (4.5)	2.8 (2.2)	0.5 (1.2)	4.0 (4.1)	2.0 (2.0)
小松市	▲0.5 (▲1.2)	▲2.3 (▲2.7)	▲1.0 (▲1.4)	▲0.8 (▲1.2)	▲1.3 (▲2.1)	▲0.9 (▲1.4)	▲0.5 (▲1.2)	▲0.9 (▲1.4)	▲0.9 (▲1.4)
白山市	▲0.8 (▲1.8)	▲0.1 (▲0.5)	0.4 (0.3)	0.7 (1.0)	▲0.1 (▲0.5)	0.4 (0.3)	▲0.8 (▲1.8)	▲0.1 (▲0.5)	0.4 (0.3)
野々市市	▲0.8 (▲1.8)	▲2.4 (▲2.9)	▲1.0 (▲1.0)	▲0.8 (▲1.8)	▲2.4 (▲2.9)	▲1.0 (▲1.0)	▲0.8 (▲1.8)	▲2.4 (▲2.9)	▲1.0 (▲1.0)
内灘町	▲2.0 (▲1.9)	▲4.3 (▲4.5)	▲2.8 (▲2.2)	▲5.4 (▲4.6)	▲6.2 (▲4.1)	▲5.1 (▲4.4)	▲4.9 (▲5.0)	▲6.7 (▲6.3)	▲5.4 (▲5.3)
七尾市	▲4.9 (▲5.0)	▲6.7 (▲6.3)	▲5.4 (▲5.3)	▲1.1 (▲1.7)	0.3 (0.8)	▲0.7 (▲1.1)	▲1.1 (▲1.7)	0.3 (0.8)	▲0.7 (▲1.1)
輪島市	▲1.1 (▲1.7)	▲2.6 (▲2.3)	▲2.4 (▲2.4)	▲2.4 (▲2.3)	▲1.6 (▲1.4)	▲2.4 (▲2.4)	▲2.4 (▲2.3)	▲1.6 (▲1.4)	▲2.4 (▲2.4)
珠洲市	▲0.2 (▲0.4)	▲2.0 (▲2.0)	▲1.1 (▲1.1)	▲0.8 (▲0.7)	▲2.0 (▲2.0)	▲1.1 (▲1.1)	▲0.8 (▲0.7)	▲2.0 (▲2.0)	▲1.1 (▲1.1)
加賀市	▲1.1 (▲1.7)	▲2.6 (▲2.3)	▲2.4 (▲2.4)	▲0.2 (▲0.4)	▲2.0 (▲2.0)	▲1.1 (▲1.1)	▲1.1 (▲1.7)	▲2.6 (▲2.3)	▲2.4 (▲2.4)
羽咋市	▲0.8 (▲0.7)	▲2.0 (▲2.0)	▲1.1 (▲1.1)	▲1.1 (▲1.7)	▲2.6 (▲2.3)	▲2.4 (▲2.4)	▲0.8 (▲0.7)	▲2.0 (▲2.0)	▲1.1 (▲1.1)
かほく市	▲1.1 (▲1.7)	▲2.6 (▲2.3)	▲2.4 (▲2.4)	▲0.8 (▲0.7)	▲2.0 (▲2.0)	▲1.1 (▲1.1)	▲1.1 (▲1.7)	▲2.6 (▲2.3)	▲2.4 (▲2.4)
能美市	▲1.1 (▲1.7)	▲2.6 (▲2.3)	▲2.4 (▲2.4)	▲0.8 (▲0.7)	▲2.0 (▲2.0)	▲1.1 (▲1.1)	▲1.1 (▲1.7)	▲2.6 (▲2.3)	▲2.4 (▲2.4)
川北町	▲0.7 (▲1.1)	▲2.6 (▲2.3)	▲2.4 (▲2.4)	▲0.7 (▲1.1)	▲2.6 (▲2.3)	▲2.4 (▲2.4)	▲0.7 (▲1.1)	▲2.6 (▲2.3)	▲2.4 (▲2.4)
津幡町	▲3.1 (▲3.0)	▲4.5 (▲4.3)	▲3.3 (▲3.3)	▲3.1 (▲3.0)	▲4.5 (▲4.3)	▲3.3 (▲3.3)	▲3.1 (▲3.0)	▲4.5 (▲4.3)	▲3.3 (▲3.3)
穴水町	▲4.9 (▲4.6)	▲3.6 (▲3.5)	▲4.2 (▲4.2)	▲4.9 (▲4.6)	▲3.6 (▲3.5)	▲4.2 (▲4.2)	▲4.9 (▲4.6)	▲3.6 (▲3.5)	▲4.2 (▲4.2)
能登町	▲4.0 (▲4.2)	▲4.4 (▲4.3)	▲4.2 (▲4.2)	▲4.0 (▲4.2)	▲4.4 (▲4.3)	▲4.2 (▲4.2)	▲4.0 (▲4.2)	▲4.4 (▲4.3)	▲4.2 (▲4.2)
宝達志水町	▲3.3 (▲3.3)	▲4.4 (▲4.3)	▲4.4 (▲4.3)	▲3.3 (▲3.3)	▲4.4 (▲4.3)	▲4.4 (▲4.3)	▲3.3 (▲3.3)	▲4.4 (▲4.3)	▲4.4 (▲4.3)
中能登町	▲2.4 (▲2.2)	▲2.7 (▲3.1)	▲2.4 (▲2.7)	▲2.4 (▲2.2)	▲2.7 (▲3.1)	▲2.4 (▲2.7)	▲2.4 (▲2.2)	▲2.7 (▲3.1)	▲2.4 (▲2.7)

※継続基準地から算出

石川県内の住宅地で基準地価の上昇率がトップとなった小松市沖町周辺

### 北陸経済

## 加賀市 2年連続プラス

商業地の平均変動率は、金沢市が4・8%、加賀市が0・3%の上昇となった。加賀市は昨年、2005年の合併以来初めて上昇に転じ、2年連続のプラスとなった。一方、能登地区は続落し、かほく、志賀、穴水、能登、輪島、珠洲の6市町はマイナス幅が拡大

## 能登の6市町 下落率が拡大

加賀市は、プラス幅が昨年の0・6%から縮小した。昨年4月に加賀市医療センターが開院し、周辺に店舗が進出した作見町の上昇率は4・1%から3・1%に下がった。

順位	所在地	価格 (円/m <sup>2</sup> )	変動率 (%)
①	金沢市東山1丁目	325,000	20.4
②	金沢市広高1丁目	570,000	15.2
③	金沢市比花町	380,000	12.4
④	金沢市本町2丁目	920,000	12.2
⑤	金沢市南町	425,000	11.8

順位	所在地	価格 (円/m <sup>2</sup> )	変動率 (%)
①	珠洲市飯田町老巻部	21,000	▲6.7
②	七尾市神明町	71,000	▲5.3
③	輪島市門前町清水	16,200	▲5.3
④	白山市鶴来本町1丁目	41,900	▲5.2
⑤	輪島市新橋通八	38,000	▲5.0

順位	所在地	価格 (円/m <sup>2</sup> )	変動率 (%)
①	小松市沖町	43,000	10.3
②	金沢市本町2丁目	198,000	7.0
③	金沢市京町	83,000	6.4
④	金沢市藤江町	98,000	5.4
⑤	金沢市彦三町1丁目	153,000	4.8

順位	所在地	価格 (円/m <sup>2</sup> )	変動率 (%)
①	輪島市堀町老巻	20,600	▲6.8
②	能登町小木老巻	11,600	▲5.7
③	輪島市門前町総い	10,400	▲5.5
④	穴水町白比ヶ丘	10,600	▲5.4
⑤	輪島市河井町六部	35,500	▲5.3

(▲はマイナス、小数点第2位を四捨五入)

順位	所在地	価格 (円/m <sup>2</sup> )	変動率 (%)
①	金沢市本町2丁目	920,000	12.2
②	金沢市香林坊2丁目	735,000	7.3
③	金沢市広高1丁目	570,000	15.2
④	金沢市広坂1丁目	435,000	6.1
⑤	金沢市南町	425,000	11.8

順位	所在地	価格 (円/m <sup>2</sup> )	変動率 (%)
①	金沢市本町2丁目	198,000	7.0
②	金沢市彦三町1丁目	153,000	4.8
③	金沢市長町1丁目	126,000	4.1
④	金沢市緑が丘	111,000	0.0
⑤	金沢市泉野町4丁目	105,000	0.0

(小数点第2位を四捨五入)

## 上昇43地点に増 住宅地

石川県内の住宅地の平均下落率は、前年の0・9%から0・7%に改善し、上昇したのは3地点増の43地点だった。野々市、白山、津幡で1地点ずつ上昇地点が増えた。横ばいは1地点増の35地点となった。上昇43地点の内訳は金沢30、野々市6、白山2、小松と加賀、かほく、能美、津幡が1ずつだった。

北陸三県の住宅地の下落率は0・9%で、石川のほかに富山が0・5%、福井が1・8%だった。工業地は15%下落

石川県の工業地の平均価格は1平方メートルあたり1万8900円で、富山1万3900円、福井1万1800円だった。

「土地を持っているのに売らない人もおり、供給が不足している。伸びしろがあると思えるだけに悩ましい」と話した。

ただ、小松、加賀の住宅地は多くの地点で前年と横ばいか下落の基調が続く。

7月に小松支店を新築移転したニューハウス工業(金沢市)の村上哲也社長は「小松や加賀は動きのある地域だ」と語る。

加賀市は、プラス幅が昨年の0・6%から縮小した。昨年4月に加賀市医療センターが開院し、周辺に店舗が進出した作見町の上昇率は4・1%から3・1%に下がった。

能登地区は続落し、かほく、志賀、穴水、能登、輪島、珠洲の6市町はマイナス幅が拡大した。

石川県の基準地価を、1月時点の公示地価と共通する14地点を比べると、平均で1・7%上昇した。

一方、能登地区は下落が目立った。最も下落率が高かったのは珠洲市飯田町老巻部の6・7%で、前年の6・3%からマイナス幅が拡大した。

半年で17%上昇